

ネット鹿島（鹿島エリア）

番組審議会議 議事録

（株）ネット鹿島では、放送法に基づき自主制作する番組の内容を第三機関の審議により、適切な放送を行っているかなど、審議する放送番組審議会を設置しています。

番組審議委員は市民の方で構成し、必要に応じて審議会を開催しています。

第13回 番組審議会議 議事録

開催日時 平成27年4月29日 PM7:00~PM8:30

開催場所 ネット鹿島 会議室

出席者

出席委員(敬称略)

井手 静雄 副会長 社会保険労務士

永松 彬 元・浜郵便局長

中村 安弘 鹿島道の駅職員

森田 郁夫 井手分区 公民館長

欠席 井ノ上光幸・藤永勝之・中川信夫・一ノ瀬明美・小崎ひとみ 欠席5名

社側出席者

水城 正治 代表取締役社長

水城 妙 専務取締役

佐々木勝之 営業課長

大隈 博文 制作部主任

岡 律子 企画室

議 事

1 開会挨拶 代表取締役社長 水城 正治

2 当社自主番組の編成及び放送について報告

今年度鹿島市では市政施行60周年を迎え、1年を通じて様々なイベントが開催された。

この記念事業の様子を11月には特集番組として放送した。

9月からは、道の駅鹿島事務局長藤雅仁さんをレポーターに起用し、対談式のインタビューを行う「藤 雅仁のウォッチ and トーク」15分番組を毎月1回更新で放送開始。

11月にはニュースと鹿島シティ情報を改編し、鹿島シティ情報ではお店や施設を紹介する「チェック」、地域的话题を紹介する「話題あ・れ・こ・れ」、市内で活躍する人等を紹介する「きらめき元気印」コーナーを新設。改編に合わせて市役所と連携して情報を伝えるコーナー「行政情報」も開始した。

又、衆議院選挙及び佐賀県知事を前に、立候補者討論会を放送した。

3 市民チャンネルの番組

鹿島シティ情報の充実

お店や施設を紹介する「チェック」月・火

地域的话题を紹介する「話題あ・れ・こ・し」水・木

市内で活躍する人等を紹介する「きらめき元気印」金・土・日

行政情報(市役所職員が出演)

鹿島市民を起用した対談式インタビュー番組

「藤 雅仁のウォッチ and トーク」 1回/月

囲碁・将棋チャンネル無料提供番組「ゼロからスタート! 囲碁入門」

(多チャンネル コミュニティチャンネルの充実のため)

昨年の番組審議会様からのご意見に対してのお答え

藤永委員 鹿島の歴史を全国的に広めたいとのご意見

→CATV 連盟の作ったCMSにアップすることで、加入している全国のケーブルテレビ局に配信可能。

今後鹿島の歴史を紹介する番組制作が課題

購入番組

NHK 大河ドラマ「巧名が辻」、ドラマ「笑う三人姉妹」、「ディロン運命の犬」

「フルスイング」放送、現在 NHK 時代劇「華岡青洲の妻」を放送中

生中継

平成26年度は、市民体育大会をはじめ鹿島ガタリンピックなど、地域の大きなイベントの生中継と佐賀県内のケーブルテレビ局が協力して放送する佐賀県高等学校総合体育大会や全国高等学校野球選手権佐賀県大会等を生中継した。また、佐賀県高等学校総合体育大会の陸上競技では当社の職員が実況を、さかの桜マラソンでは昨年引き続きレポーターを担当した。

5月 第59回市民体育大会

第30回鹿島ガタリンピック

第52回佐賀県高等学校総合体育大会

6月 第52回佐賀県高等学校総合体育大会

7月 第96回全国高等学校野球選手権記念佐賀大会

8月 第355回筑後川花火大会

第51回鹿島おどり 1日目・2日目

9月 第17回かしま伝承芸能フェスティバル

10月 長崎・佐賀の秋まつり

長崎くんち「くんちのタベ」

武雄の流鏝馬

秋祭りだ! トンテントン【川落とし合戦】

11月 佐賀の秋まつり

唐津くんち【宵やま・曳き込み】

佐賀バルーンフェスタ

2月 第64回公認鹿島祐徳ロードレース大会
4月 さが桜マラソン 2015年
佐賀県議会議員選挙 開票速報 無投票の為中止
鹿島市議会議員選挙 開票速報
鹿島市議会臨時会・定例会(5・6・9・12・3月)
佐賀県議会定例会(6・9・12・2月)
昨年好評だったNHKとの共同制作(10・1・2・3月)
歌王さが「杵藤地区大会 他4地区予選会・決勝戦」の収録放送も行った。
衆議院選挙1区2区候補者討論会(12月1日19時より収録放送)
2014年佐賀県知事選挙公開討論会クロストーク(12月13日～収録放送)
佐賀県知事選 公開討論会 ※佐賀新聞主催(12月22日～収録放送)
第55回郡市対抗県内一周駅伝大会 応援番組・ダイジェスト1・2・3日 収録放送
NHKのど自慢 予選会(唐津市)収録放送

委員より出された意見(要約)

- ・ 全体として、いい番組づくりが昔よりできている。スタッフの産休・育休などあり、現在少ない人数であるが、鹿島の職員は頑張っているように思う。
- ・ スポーツ番組では、特に、進行と勝敗の行方・経過がわからないので、常に放送には、点数を入れてほしい。(タイラ杯 サッカーを見ていて)
- ・ 職員の教育(アナウンス・マナー教室)も、先生に来ていただいて定期的に行っておられるようだが、アナウンサーは、外の県内スタッフとの交流などで成長されているようなので、引き続き頑張ってください。他の職員も。
- ・ 道の駅の藤さんの起用は、どういう観点から始まったのか。以前の、「この人に聞く!」の延長か。道の駅関連で、いろいろクローズアップされていて面白い
- ・ 全国に鹿島の歴史を知ってもらうようできないか。歴史関係の作成について、適当な人材もおられるようなので、ぜひ作成してほしい。
- ・ 商工会・店舗などの人も出てもらい、相互にウィン・ウィンの関係を気付いて、巻き込んでいくことが、大切であり、それが街づくりになるのではないか。
- ・ 人材の情報などは人材バンクなど、情報を持っているところを活用し、人物を見つけたらどうか
- ・ 本年度の囲碁の祐徳本因坊戦は、佐賀県代表とし地元の高校生がでる。インタビューなど期待している。
- ・ 選挙の時、市民の公開討論会の企画はどうか。青年会議所・JCなどと、共同企画したらどうか。

- ・ 行政情報など、市役所の方が直接番組に出演してもらい情報発信をしてもらえるようになって、かなりよくなっているのではないかな。
- ・ 時間帯など、この年齢はこの番組とか、この時間帯など、(ターゲットごとのマーケットを拓くような)番組の構成になるよう考えてはどうか。
- ・ プレミアム商品券の発売もあり、紹介して盛り上げ役として期待している。
- ・ 市内全域から番組モニターを募集してはどうか。
モニターを通してケーブルテレビと視聴者をつなぐパイプになってもらいたい。
営業にもつながるのではないかな。

以上、コミュニティチャンネルに関する活発な意見をいただき有難うございました。
今後も、ネット鹿島では充実した自主制作番組に取り組んでまいります。